

中芸高だより

平成30年度
第5号



《平成三十年度中芸高校卒業式》

穏やかな春の優しさに包まれた三月一日（金）、平成三十年度の卒業式が挙行され、昼間部25名が中芸高校を巣立っていききました。

卒業証書授与では、ホーム担任から名前を呼ばれた一人ひとりが、大きな声で返事をし、三年間の様々な思いを振り返りながら、堂々とした姿勢で登壇し、卒業証書を受け取りました。

学校長の式辞では「先行きが見通せない不安定な時代だからこそ、卒業生の皆さんには、夢や目標をしっかりと持ってもらいたいと思います。なぜならば、夢や目標がないところには、ビジョンや計画もなく、ビジョンや計画のないところには行動もなく、行動がなければ、成果も成功もないからです。行動の原点ともなる夢や目標、「志」をしっかりと持つて下さい。その夢や目標が地域や社会の発展に少しでも貢献できるものならば、なお素晴らしいと思います。夢の実現に向けて必死に努力すること、地域や社会を支えるかけがえのない存在となることを強く願っています。」と最後の言葉を送りました。

送辞では、在校生を代表して堀川くんが卒業生との思い出を振り返り、卒業生への感謝と中芸高校の伝統を引き継いでいく決意を伝えました。「新たな旅路の途中で、思いもよらない大きな壁や数々の苦難に悩んでしまう時があるかもしれませんが、しかし、そんな時ほど、持ち前の明るさと元気魂でその全てを跳ね返し、大きな志を持って歩んで行って下さい。」と卒業生へ新たな旅立ちのメッセージを送りました。

答辞では、卒業生を代表して山中さんが三年間の思いを述べました。入学して間もなく宿泊研修で仲間づくりを行ったことや、部活動や学校行事の思い出など、いつも一緒に歩んできた同級生へメッセージを伝えました。そして最後は、「これまで数々の不安や困難を乗り越えてこられたのも、中芸高校の友達や先生方のおかげでした。みんなといると、しんどいことも楽しく、楽しいことはもっと、楽しく感じられたものです。これから先、大きな壁にぶつかるともあると思いますが、中芸高校で過ごした思い出を胸に、乗り越えていきたいと思います。」と力強く結びました。式典終了後は、生徒会主催の送る会。三年間を振り返るスライド上映が行われ、懐かしい表情の数々に、笑いあり涙ありのひと時となりました。恒例のくす玉に込められた言葉は「前途有望」。卒業生一人ひとりの、夢の成功を祈願しました。温かな拍手に送られ、下級生たちが飾りつけた最後の教室でホームを行い、卒業生は中芸高校の学び舎を後にしました。

最後になりましたが、御列席いただきました来賓の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、この日を待ち望まれていた、保護者の皆様、本当におめでとうございました。新しい未来に向かって力強く歩み始めた卒業生たちの今後の活躍に、心から声援を送りたいと思います。



修学旅行

1月29日（火）～2月1日（金）まで、2年生が3泊4日の修学旅行に行ってきました。初日は横浜のアカレンガ倉庫群や東芝未来科学館で研修を行い、2日目は事前にグループ別で調査していた場所へ出向く活動を行いました。3日目は楽しみにしていたデイズニールンドを堪能し、最終日は東京スカイツリーや浅草寺などを観光して帰高しました。



数学研究授業

2月1日（金）、数学科による研究授業が行われました。教室での座学だけでなく、グラウンドに出て体感で学びとする実践などもありました。周りとの協力し合い、より良い学習となりました。



進路トライアルスタディ

2月14日（木）県内の大学や専門学校、5校による模擬授業が行われました。福祉や看護、ものづくり製造や美容関係など、進路について意識を高める貴重な体験となりました。

